



健康経営とは何か？

今が一番寒い時ですが、皆さんお元気でしょうか？ ところで「**健康経営**」という言葉をご存知でしょうか。僕は全く知らず、聞いたことがありませんでした。どんなものかを知るために、1月26日に「2017年からはじめる健康経営」と題する講演会に行ってきました。最初は健康経営の概要について、特定非営利活動法人健康経営研究会の理事長が講演。次に、こころと体の健康づくりに関する企業の取り組み事例の発表がありました。最後は「金融・資本市場からみた健康経営」というタイトルで、日本政策金融公庫の担当者が健康経営格付融資についてお話しされておりました。

社員の健康問題は、もはや「個人的なこと」ではありません。生産性低下、労働災害、訴訟による損害賠償責任、そして新卒採用ができない、といった「経営課題」としてクローズアップされています。昨年、電通の女性社員の自殺が大きく報道されましたが、最終的には強制捜査が入り、トップが辞任しています。**これからの経営者や管理職は、社員の健康問題について「知らなかった」とは言えない時代に突入しているのです。**

では、どうすればいいのか。講演ではトップダウンによって健康経営に取り組むことを宣言し、具体的な計画と「**健康投資**」について、事例を上げて説明しておりました。健康投資はコストではありません。企業価値を高め、会社と社員がウィンウィンの関係になるための「投資」であることを講師は力説されていました。大企業の取り組み事例が中心でしたが、**これから中小企業も「健康経営」を意識せざるを得なくなるでしょう。**

特定非営利活動法人 健康経営研究会 <http://kenkokeiei.jp/>

「AI時代の人生戦略『STEAM』が最強の武器である」を読みました！



今回ご紹介する本は、「**AI時代の人生戦略『STEAM』が最強の武器である** (SBクリエイティブ、¥864、成毛眞著)」です。冒頭、アメリカでは「**STEM教育**」に力を入れていることを語っています。STEMとはサイエンス (科学) の「S」、テクノロジー (技術) の「T」、エンジニアリング (工学) の「E」、マセマティックス (数学) の「M」のこと。著者はこれにアート (芸術) の「A」を加えて「**STEAM**」という概念を提唱しています。

例えば「人工知能やロボットを使う側になるのか。それとも使われる側になるのか」という命題を突き付け、使う側になるなら「STEAM」が必要であると主張しています。

さらに、「**弁護士の仕事もAIに奪われる**」というアメリカの事例を読んでもみると、日本もやがて弁護士だけでなく、税理士、司法書士、社会保険労務士といった士業の仕事も同じように奪われるように感じました。

刺激的な内容が多いので、「**自分の人生は安泰で大船に乗ったつもり**」になっている方は、是非ご一読ください。読む人によっては、震え上がるかもしれませんが～(笑)。